

2022（令和4）年5月17日

監査報告書

学校法人 実践女子学園
理事会 御中
評議員会 御中

学校法人 実践女子学園

監事(常勤) 安達 勉 ㊟

監 事 山田 明男 ㊟

私たち学校法人実践女子学園監事は、私立学校法第37条第3項及び学校法人実践女子学園寄附行為第17条の規定に基づき、学校法人実践女子学園の2021年度（令和3年4月1日から令和4年3月31日まで）の業務に関する決定及び執行、財産の状況、並びに理事の業務執行の状況について監査を行いました。その結果につき、次のとおり報告します。

1 監査方法の概要

私たちは監査にあたり、理事会及び評議員会、並びに常任理事会その他の重要な会議に出席して意見を述べたほか、理事から業務執行の報告を聴取し、重要な決裁書類等を閲覧するとともに、会計監査人（東和監査法人）と連携して計算書類について検討を加えるなど、必要と思われる監査手続きを実施しました。

また、内部監査室と三様監査連絡会を開くなど、必要な情報交換を行いました。

2 監査の結果

- (1) 学校法人実践女子学園の業務に関する決定及び執行は適切な手続きを経て行われており、学園の業務執行若しくは財産又は理事の業務執行に関する不正の行為は認められず、かつ、法令及び寄附行為に違反する重大な事実も認められませんでした。
- (2) 計算書類、すなわち資金収支計算書、事業活動収支計算書及び貸借対照表（固定資産明細表、借入金明細表及び基本金明細表を含む。）、並びに財産目録は、会計帳簿の記載と合致し、本法人の収支及び財産の状況を正しく表示しているものと認めます。

3 附言

引き続き新型コロナウイルス感染症蔓延に対応して、2021年度も対面授業と遠隔授業の併用や時間短縮等の措置をとりつつ、可能な限り円滑な教育展開に努め、迅速かつ的確な学校運営を実施されたことを評価します。

以上